

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 1 7 号
2 0 1 5 年 1 0 月 2 0 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

名古屋車両所におけるイベント開催に関する申し入れ

10月3日、名古屋車両所でイベント（「東海道新幹線のおしごとを学ぼう」）が開催された。当日、現場社員に対してイベント開催に関する説明がないため、社員から管理者に質問があったが、管理者自身も「私もはっきりしたことは知らない」と答えた。その後、管理者からの要請でようやく技術の担当者がホワイトボードにおいて簡単な説明を行った。

当日、作業内容を知らずに作業をしていたら、イベント参加者を巻き込む事故が考えられたが、社員による発言で事故防止となった。この度の会社による危険極まりない事態が起り得たことを、会社自身が真摯に反省するべきであると考えている。

イベント自体は旅行会社により早くから一般募集されており、会社も事前に把握していたはずである。しかし、現場では名古屋車両所の現場見学に訪れる日や見学内容も周知されず、作業員に至っては当日になっても説明を受けていなかった。

地本は窓口を通じて関西支社に抗議すると「どういうイベントであったか承知していない」「イベントは関係者が安全を確保しながら対応したはず」と回答した。さらに「検修日報には書いていた」「関係者が説明しに行ってる」と開き直りとも言える回答を行った。

次回のイベントには必ず、事前に現場への説明を行うよう窓口で申し入れると、誠意ある回答をすどころか、当日の現場社員がトラブルを発生させたかのように問題をすり替えようとしてきた。現場社員への説明「連絡の徹底」を失念し、会社自らが安全確保の徹底を怠った問題を真摯に受け止めず、社員へ責任転嫁する姿勢は安全をないがしろにする行為である。

よって以下の通り申し入れるので、早急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 現場社員に事前の説明がなかったことについて真摯に反省し、謝罪すること。
2. 10月3日の当日、作業にかかる直前まで助役を含む現場社員はイベントによる作業内容の説明は受けていなかった。会社の見解を明らかにすること。
3. 10月3日、作業前に技術の担当者が現場社員に説明をおこなったのは何故か。明

らかにすること。

4. 10月3日までにCMCの関係社員は、事前にイベント開催と作業についての若干の説明を受けていた。誰がいつ、説明したのか。明らかにすること。
5. 安全綱領の「連絡の徹底」が怠っていたと考える。会社の見解を明らかにすること。
6. 今後予定されているイベント（10月24日、11月14日、11月21日）の開催の事前に必ず現場社員への説明を行うこと。

以上